

幌加内町平成28年予算審査特別委員会 第2日目

平成28年3月17日(木曜日)

○出席委員(9名)

委員長	8番	齋藤雅文君	副委員長	5番	小関和明君
副委員長	6番	春名久士君		1番	稲見隆浩君
	2番	中村雅義君		3番	中川秀雄君
	4番	市村裕一君		7番	田丸利博君
	9番	小川雅昭君			

○退席委員(1名)

7番 田丸利博君(12:08~14:21)

○出席説明員

町長	細川雅弘君
副町長	村上悟君
教育長	児玉博君
総務課長	大野克彦君
産業課長	村上雅之君
建設課長	小野田倫久君
住民課長	竹谷浩昌君
保健福祉課長	中河滋登君
地域振興室長	村上悟君
教育次長	清原吉典君
病院事務長	蔵前裕幸君
総務係長	新江和夫君
総務係長	三浦依里子君
職員厚生係長	椿英万君
情報管理係長	椿高木敏光君
広報統計係長	高山本めぐみ君
総務係長	山本村貴智君
財政係長	北村地宏君
産業課長補佐	山本久稔君
産業課長	伊藤宗徳君
農政係長	
産業	

◎開議の宣告

○委員長（齋藤雅文君） ただいまの出席委員数は9名であります。定足数に達しておりますので、直ちに予算審査特別委員会を開きます。

◎議案第33号ないし議案第40号

○委員長（齋藤雅文君） これから歳入の審査に入ります。

説明を願います。

総務課長。

○総務課長（大野克彦君） それでは、歳入につきまして私のほうで一括説明させていただきます。なお、前段で副町長のほうで概要説明等を行っておりますけれども、なるべく重複を避けて説明させていただきます。

それでは、予算書の10ページ、11ページをお願いいたします。1款1項1目、町民税個人、本年度8,973万2,000円、320万2,000円の増となっております。これにつきましては、農業所得の増を見込み、増額とさせていただきます。

2目法人、本年度769万3,000円、20万3,000円の減額となっております。

○委員長（齋藤雅文君） 課長、説明長くなりますので、着席してお願いします。

○総務課長（大野克彦君） 済みません。それでは、着席させていただきます。

ここにつきましては、27年度の決算見込みを根拠とし、算出しております。

2項1目固定資産税、本年度6,752万4,000円、118万2,000円の減額となっております。これにつきましては、償却資産税の課税標準額の減が要因となっております。

2目国有資産等所在市町村交付金、本年度467万6,000円、26万4,000円の増となっております。これにつきましては、森林管理局の森林の評価の伸びに伴う増となっております。

3項1目軽自動車税423万7,000円、20万4,000円の増となっております。課税対象となる台数の増を見込んでございます。

4項、次のページをお願いいたします。1目たばこ税657万9,000円、50万4,000円の減額となっております。製造たばこ部分での減を見込んでございます。

5項1目入湯税156万9,000円、9万円の増額、ここは特にございませぬ。

次のページ、14ページ、15ページをお願いします。2款1項1目地方揮発油譲与税から次の1目自動車重量譲与税、16ページの利子割交付金、18ページの配当割交付金、20ページの株式等譲渡所得割交付金、22ページの地方消費税交付金、次のページの自動車取得税交付金、26ページの地方特例交付金、ここまでにつきましては副

町長の概要説明と同様でありますので、省略させていただきます

28ページ、9款1項1目地方交付税、本年度20億7,300万円、4,200万円の増額となっております。これにつきましては、前年につきましては骨格予算でしたので、このような増額となっておりますけれども、肉づけ予算に対しては減額となっております。これにつきましては、現在のところ国においては出口ベースで0.3%の減、それから国調の人口減等がございますので、実際的には7月に普通交付税が本算定されますので、そのときにある程度の姿が見えてくるものと考えてございます。

次のページお願いいたします。30ページ、31ページ、10款1項1目交通安全対策特別交付金、本年度50万円、比較増減なしとなっております。このページは特にございません。

次のページ、32ページ、33ページをお願いいたします。11款1項1目分担金、本年度4,448万4,000円、比較4,218万3,000円の増額となっております。これにつきましては、前年の当初予算よりも道営事業の中部地区の経営体の分担金、それから西部地区の畑地総合整備事業の分担金、この2件が皆増となっておりますので、ふえた要因となっております。

次、2項1目負担金、本年度52万6,000円、358万2,000円の減額となっております。これにつきましては、保育所入所者負担金、これが無償化に伴いまして410万7,000円の減額が主な要因となっております。

次のページ、34ページ、35ページをお願いいたします。12款1項1目総務使用料675万円、36万8,000円の増額、ここは特にございません。

2目民生使用料227万円、23万8,000円の減額、これも特にございません。

3目衛生使用料8,745万8,000円、5,889万9,000円の増額となっております。これにつきましては、下から2段目の幌加内診療所の使用料が病院から変更されることに伴いまして6,072万7,000円の増額となっております。

4目農業使用料、次の5目商工使用料、特にございません。

次のページ、36ページ、37ページをお願いいたします。6目土木使用料、7目教育使用料も特にございません。

2項1目総務手数料、これも特にございません。

2目衛生手数料、本年度1,128万6,000円、691万8,000円の増額ですけれども、これにつきましても下から2段目の幌加内診療所の手数料が新たにふえたことによる増額となっております。

次のページ、38ページ、39ページをお願いいたします。このページ、3目農業手数料、4目教育手数料ともに特記事項はございません。

次のページ、40ページ、41ページをお願いいたします。13款1項1目民生費国庫負担金、本年度4,574万9,000円、462万3,000円の増額となっております。主な要因といたしましては、上から3つ目の保育所運営費負担金、ここにつ

いて350万4,000円の増額となったことが主な要因となっております。

続きまして、2目農林水産業費国庫負担金、特にございません。

2項1目民生費国庫補助金、これにつきましては本年度660万2,000円、641万3,000円の増額となっておりますけれども、これにつきましては地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金の増額によるものとなっております。

次のページ、42ページ、43ページをお願いいたします。3目土木費国庫補助金、本年度3,395万3,000円、比較で5,091万8,000円の減額となっておりますけれども、これについては公営住宅のわかば団地が6,729万2,000円がありましたけれども、この減額によるものが主な要因となっております。

4目教育費国庫補助金、それから5目総務費国庫補助金、これは特にございません。

次の衛生費国庫補助金につきましては、前年感染症予防事業に係る補助金がありましたけれども、なくなりましたので、減額となっております。

3項1目総務費委託金、次の民生費委託金、特にございません。

次のページ、44ページ、45ページをお願いいたします。14款1項1目民生費道負担金、本年度3,101万円、203万2,000円の増額となっておりますけれども、これにつきましては右側の上から5番目の保育所運営費負担金といたしまして175万2,000円の減額となったものが主な要因となっております。

続きまして、2項、次のページ、46ページ、47ページをお願いいたします。1目民生費道補助金、本年度307万1,000円、比較342万5,000円の減額となっておりますけれども、これにつきましては右側の一番下の子育て支援対策事業費補助金で160万円の減額、その他前年につきましては放課後児童健全育成事業補助金が127万4,000円あったものがなくなったことにより減額となっております。

次の2目衛生費道補助金については、特にございません。

3目農林水産業費道補助金1億2,732万5,000円、比較4,275万9,000円の増額となっておりますけれども、これにつきましては上から4段目の環境保全型農業直接支援対策事業補助金の中で3,471万4,000円の増額によることが要因となっております。この目については以上です。

次のページをお願いいたします。48ページ、49ページをお願いいたします。4目総務費道補助金430万円、190万円の増額でありますけれども、ほろみん号に対する補助金の増額となっております。

5目教育費道補助金、特にございません。

3項1目総務費委託金588万3,000円、比較といたしまして145万円の減額となっております。これにつきましては、減の要因といたしましては知事道議選挙の選挙経費210万円の減、それから国勢調査に係る交付金268万円の減が減額の要因でありまして、参議院選挙に係る事務委託費300万円がふえた要因となっております。この目については以上です。

次、2目農林水産業費委託金、特にございませぬ。

次のページ、50ページ、51ページも特にございませぬ。

次のページ、52ページ、53ページをお願いいたします。15款1項1目財産貸付収入、ここについても特にございませぬ。

2目利子及び配当金、本年度419万6,000円、56万7,000円の減となつてございませぬ。ここにつきましては、基金の利息等を計上しておりますけれども、この計上した時期よりも今若干利息が下がつてきておりますので、決算的には若干これよりさらに減ることを見込んでございませぬ。

次のページをお願いいたします。54ページ、55ページをお願いいたします。2項1目不動産売払収入、2目物品売払収入、3目生産物売払収入、特に特記事項ございませぬ。

次のページをお願いいたします。56ページ、57ページをお願いいたします。16款1項1目一般寄附金、これにつきましては本年度10万1,000円、比較1,000円上がつておりますけれども、この中でふるさと納税寄附金ございませぬけれども、ふるさと納税につきましては現在検討中でありまして、新たな内容が決まり次第若干の変更が出てくるかと思ひますけれども、現時点では前年とほぼ同じで計上させていただきます。

2目使途指定寄附金、特にございませぬ。

続きまして、58ページ、59ページをお願いいたします。17款1項1目基金繰入金、本年度2億6,864万8,000円、比較2億4,928万9,000円の増額となつてございませぬ。増額の主な要因といたしましては、右側の4番目、地籍整備基金3,000万円、これにつきましてはJR跡地の調査設計に充当するものとしております。それから、下から2番目、財政調整基金2億2,000万円、これにつきましては歳入不足を補うため基金繰り入れを予定してございませぬ。

次のページをお願いいたします。60ページ、61ページ、18款1項1目繰越金、特にございませぬ。

次の62ページ、63ページをお願いいたします。19款1項1目の延滞金から4項の2目過年度収入まで、特にございませぬ。

3目雑入におきましては、本年度7,852万6,000円、54万3,000円の減でございませぬけれども、これにつきましては次の次のページ、66ページ、67ページになりますけれども、この中の下から2番目の学校給食費の収入において111万2,000円の減額を見込むことが要因となつてございませぬ。

次の68ページ、20款町債関係につきましては、副町長の概要説明と同様となりますので、省略させていただきます。なお、町債に係る一覧につきましては、議案の6ページの第3表に一覧を掲載してございませぬ。それから、起債全体の残高見込み等につきましては195ページに第3表の2というようなことで記載させてありますので、後ほ

どお目通しをいただきたいと思います。

歳入につきましては以上で説明を終わります。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。

事項別明細書、歳入の10ページから質疑を受けます。10ページ、11ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 12ページ、13ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 14ページ、15ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 16ページ、17ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 18ページ、19ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 20ページ、21ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 22ページ、23ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 24ページ、25ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 26ページ、27ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 28ページ、29ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 30ページ、31ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 32ページ、33ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 34ページ、35ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 36ページ、37ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 38ページ、39ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 40ページ、41ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

- 委員長（齋藤雅文君） 42ページ、43ページ、質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 44ページ、45ページ、質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 46ページ、47ページ、質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 48ページ、49ページです。質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 50ページ、51ページ、質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 52ページ、53ページです。質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 54ページ、55ページ、質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 56ページ、57ページ、質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 58ページ、59ページです。質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 60ページ、61ページ、質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 62ページ、63ページ、質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 64ページ、65ページ、質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 66ページ、67ページ、質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 68ページ、69ページです。質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 70ページ、71ページです。質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 歳入全般について質疑ありませんか。
春名委員。

○6番（春名久士君） 歳入全般についてちょっとお聞きしたいのですけれども、37億という総予算、例年から見たら大変大きな予算なのですけれども、病院だとか、あるいは高校だとか、大きな事業が予算で計画されているわけなのですけれども、その財源として起債が約5億、それから基金の取り崩しが2億2,000万ということで、そういう

ことで財源の確保をされているわけですけれども、幌加内はそんなに厳しいわけではないので、7億ぐらいの基金取り崩しと起債はそう大きな問題ではないのかなというふうには思いますけれども、今後これからまた大きな事業も予定というのですか、想定される中で、今回の予算をそこら辺を踏まえてどう考えているのか、町長の考え方があればお聞かせ願いたいと思います。

○委員長（齋藤雅文君） 町長、よろしいですか、お願いします。

○町長（細川雅弘君） それでは、私の考え方をちょっと述べさせていただきたいと思います。

昨年、ことし、10年越しで議論してきた病院の再編ということで、平成23年当時に1回戦計画したわけでございます。当時の転換は、介護療養、これを老健施設に転換ということでシミュレーションしました。そのときの建設費、そして建設した後のランニングということで、当時建設費が十五、六億、問題はその後の赤字でございます。毎年1億円の赤字が生じるということでシミュレーションしました。そして、行革の計画でいきますと、今交付税が特交を入れて二十二、三億、これが当時は最低で16億円まで先細りすると、そういった中でこれはもたないだろうということで白紙に戻した経過があります。おかげさまで今交付税10年来ほぼ横ばいということで、自主財源が確保できるところでございます。

それと、もう一つ、ことし建てました特養なのですけれども、おかげさまで過疎債というソフト、それで借り入れができたということであります。これが幌加内町が単独で町営で建てた場合、過疎債は補助金でなくて建設費の建設単価の一定の枠でしか借りられません。思った以上に過疎債が多く借りれたということで、27年度決算は基金に手をつけずに済んだということであります。ただし、ことしについては学校の環境改善などで基金に手をつけざるを得ないということで、今ご質問のありましたとおり2億2,000万の基金取り崩し。しかしながら、交付税の見込みが20億ちょっとということで、実際にはもう少し留保財源があると。それと、もう一つ、27年度決算の繰越金が今5,000万円できたわけです。これがもう少し見込めるのではないかなということで、実際28年度の決算を考えたときに、基金取り崩しは本当に最小限で済むのではないかなという、私の中ではイメージを抱いております。しかしながら、過疎債といえども、やはり3割というものは自主財源でございます。こういった償還が将来かかる、これは間違いない事実でございます。それと、もう一つ、寿光会さんが運営をやっていただけるのですが、その中で3年間の給与費の保障、それと_____に対する町の補助金、これは3年、それ以後も少し継続いかなければならない。それでランニング経費がかかる。

それと、もう一つ、診療所の関係です。これは、外来が極めて減ってきているということで、当初ざっくりと言えば1億円の外来収入を見込んでいたわけですが、これが8,000万程度、あるいは7,000万台に落ち込んでいる。そういった中で支出を見たときには、かなりの補填額必要だと。これは、朱鞠内診療所、歯科診療所含めまして、

そういった医療にかかわる町費の持ち出し、これを当然見ていかなければならぬということで、財政全般について決して悲観はしておりませんが、楽観はしていないと。やはり地方交付税次第かなという状況については変わりがないのかなということで私はシミュレーションしているところでございます。

以上です。

○委員長（齋藤雅文君） ほかに歳入全般について質疑ありますか。

小関委員。

○5番（小関和明君） 1つ、確認も含めてお尋ねしたいのですが、道支出金の中で、ほろみん号の試験運行補助ということで430万ということで計上されていますけれども、お話を聞いていると単独費を出さなければならぬと、町費を、そういうことも運営の中でありましてというのは都度いろんな会議でお話を聞かされていた状況もあるのですが、これが今年度も対象になり、今後ともこういったことがあり得るのか、ちょっと確認させていただきたい。

○委員長（齋藤雅文君） 室長。

○地域振興室長（村上 悟君） お答えいたします。

この430万円につきましては、北海道の地域づくり総合交付金、これを見込んだところなのですが、地域づくり総合交付金につきましては継続事業は3年までという決めがまずあります。26年から始まってということですので、26年、27年、28年ということで、ことしが対象とするには最後の年ということになります。ただ、これも全体で需要がどれほどあるのかというのはまだ把握できておりませんので、必ずこの430万円が入ってくるという確約は今のところできない。ただ、私どもとしてはとりあえず上げさせていただくというつもりでおります。これは2分の1補助でございますので、残りの2分の1については単費で賄われる、委員さんの言うとおりです。

以上です。

○委員長（齋藤雅文君） ほかに歳入全般について質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） ないようでございます。質疑なしと認めます。

以上をもちまして一般会計の質疑を終わらせていただきます。ご苦労さまでした。

暫時休憩いたします。

休憩 午前10時29分

再開 午前10時30分

○委員長（齋藤雅文君） それでは、休憩を閉じ、特会の第1番目ですけれども、平成28年度幌加内町国民健康保険特別会計予算の質疑を行います。

事項別明細書、歳出より説明を願います。

住民課長。

○住民課長（竹谷浩昌君） それでは、事項別明細書、歳出からご説明いたしますので、歳出、28ページ、29ページをお開きください。

○委員長（齋藤雅文君） 課長、説明のときは座っていただいて結構です。

○住民課長（竹谷浩昌君） 失礼します。

歳出、1款1項1目一般管理費、予算額202万8,000円、前年比24万6,000円の減であります。この目については特に説明はございません。

次に、2目連合会負担金、予算額51万6,000円、前年比1,000円の増であります。19節の連合会負担金であります。国保連合会負担金で28万7,432円、連合会上川支部負担金1万1,000円、国保保険者ネットワーク負担金21万6,797円の内訳となっているところであります。

次に、2項1目賦課徴収費、予算額10万1,000円、前年度同額であります。この目につきましては特に説明はございません。

次のページをお開きください。3項1目運営協議会費、予算額8万2,000円、前年比2,000円の増であります。この目につきましても特に説明はございません。

次の32ページをお願いいたします。2款1項1目一般被保険者療養給付費、予算額1億4,894万6,000円、前年比944万4,000円の増であります。19節、一般被保険者療養給付費でありますけれども、これにつきましては25年から27年上期までの平均値で予算を算出しているところであります。

次に、2目退職被保険者等療養給付費、予算額100万3,000円、前年比45万6,000円の減であります。19節で退職被保険者等療養給付費でありますけれども、27年の上期の給付状況から算出しておりまして、給付件数の減により前年比45万6,000円の減となったところであります。

次に、3目一般被保険者療養費、予算額56万9,000円、前年比3万円の減であります。19節の一般被保険者療養費ですけれども、25年から27年上期までの平均値を用いて算出したところであります。

次の4目退職被保険者等療養費、予算額5万円、前年度同額であります。これにつきましても26年から27年上期まで実績がありませんでしたが、前年と同額として予算計上したところでございます。

次の5目審査支払手数料、予算額26万4,000円、前年度同額であります。12節、審査支払手数料でありますけれども、27年の4月から11月までの実績によりまして算出しており、この期間に月平均件数493件でありまして、これを昨年と同様に500件と見込んで計上したところでございます。

次に、2項1目一般被保険者高額療養費、予算額2,108万2,000円、前年比293万8,000円の増であります。19節、一般被保険者高額療養費でありますけれども、平成25年から27年上期までの平均値で算出しております。平成27年上期

で前年比1.2倍の伸びがありましたので、その点を考慮して予算計上したところでございます。

次に、2目退職被保険者等高額療養費、予算額12万2,000円、前年比1万4,000円の増であります。19節、退職被保険者等高額療養費でありますけれども、平成23年から給付実績がありませんので、一般被保険者の平均値を用いまして算出して、2件を予算計上しているところであります。

次に、3目一般被保険者高額介護合算療養費、予算額10万円、前年度同額であります。19節の一般被保険者高額介護合算療養費でありますけれども、平成26年度支給実績ありませんでしたので、前年度同額としたところでございます。

次に、4目退職被保険者等高額介護合算療養費、予算額2万円、前年同額としております。19節の退職被保険者等高額介護合算療養費でありますけれども、これにつきましても26年の支給実績ございませんでしたので、前年度同額としたところであります。

次に、3項1目一般被保険者移送費、予算額1万円、前年同額であります。19節の一般被保険者等移送費でありますけれども、これにつきましては移送がなければ診療が受けられない場合に限り支給されるものでありまして、これにつきましても実績はありませんが、前年度同額として予算を計上したところでございます。

次のページをお願いいたします。2目退職被保険者等移送費、予算額1万円、前年度同額であります。これにつきましても一般被保険者と同様実績はございませんが、前年同額として1万円を予算計上したところでございます。

次に、4項1目出産育児一時金、予算額210万円、前年度同額であります。19節、出産育児一時金でありますけれども、1件当たり42万円、5件分を予算計上しているところでございます。

次に、2目審査支払手数料、予算額2,000円、前年度同額であります。この目については特に説明はございません。

次に、5項1目葬祭費、予算額10万円、前年度同額であります。19節の葬祭費でありますけれども、本年度前年同額、10件分を予算計上したところであります。

次のページをお開きください。3款1項1目後期高齢者支援金、予算額2,480万円、前年比120万円の減であります。19節の後期高齢者支援金でありますけれども、これにつきましては後期高齢者医療制度に対するゼロ歳から74歳までの国保加入者からの支援金で、後期高齢者会計全体のうち5割が公費、1割が保険料、4割が支援金としており、それらの負担されるものでございます。社会保険診療報酬支払基金より通知されている額でございます。

次に、2目後期高齢者関係事務費拠出金、予算額4,000円、前年度同額であります。この目については特に説明はございません。

次のページをお願いいたします。4款1項1目前期高齢者納付金、予算額3万円、前年比1万5,000円の増であります。19節の前期高齢者納付金でありますけれども、これ

につきましては前期高齢者の方の遍在による保険者間の不均衡を調整する制度で、前期高齢者の加入割合に関係なく全保険者が負担するものであります。28年度に用いております係数がまだ未定でありますので、27年度並みの概算数値を予算計上したところでございます。

次に、2目前期高齢者関係事務費拠出金、予算額3,000円、前年度同額であります。この目については特に説明はございません。

次のページをお開きください。5款1項1目老人保健医療費拠出金、予算額1,000円、前年度同額であります。老人保健医療費拠出金でありますけれども、この保険制度につきましては既に廃止されておりますけれども、新規分の拠出金は発生しませんが、過誤請求の発生に備え、科目存置としたところでございます。

次に、2目老人保健事務費拠出金、予算額2,000円、前年度同額であります。この拠出金であります、これは26年度以降請求される月おくれレセプトの費用を措置するため予算を計上しているところでございます。

次のページをお開きください。6款1項1目介護納付金、予算額920万円、前年比20万円の減であります。19節の介護納付金でありますけれども、平成28年度暫定数字を用いて算出しております。4月になりましたら社会保険診療報酬支払基金より金額の通知がございまして、それにより確定となります。

次のページをお開きください。7款1項1目高額医療費共同事業医療費拠出金、予算額584万6,000円、前年比73万9,000円の増であります。19節の高額医療費共同事業医療費拠出金であります、これにつきましては小規模保険者において予想外の高額な医療が生じた場合に対処する事業で、1件80万以上が対象となります。国保連からの概算通知により予算を計上したところでございます。

次に、2目保険財政共同安定化事業医療費拠出金、予算額5,680万1,000円、前年比405万1,000円の増であります。この拠出金についてであります、これは昨年度より80万円未満のレセプト全てが対象となっており、これにつきましても国保連からの概算通知による額を予算計上したところでございます。

次に、3目高額医療費共同事業事務費拠出金、予算額1,000円、次の4目保険財政共同安定化事業事務費拠出金、予算額1,000円につきましては、科目存置でありますので、特に説明はございません。

次のページをお開きください。8款1項1目特定健康診査等事業費、予算額145万2,000円、前年比45万2,000円の増であります。13節の委託料、特定健康診査委託料136万8,000円でありますけれども、前年比46万7,000円の増となっております。これにつきましては、本町の65歳以上の方の有病状況、病気の状況を見ますと心臓病の方がふえてきているということから、本年度より心電図検査の対象者を特定健診受診者全員に拡大したことによる心電図検査委託料26万7,000円の増と受診機会の拡充を図るため従来の特定健診とがん検診をあわせて受診することが

できる旭川がん検診センターで行っております送迎つきの検診を本年度より新たに加えることとし、20名分の特定健診委託料20万円を予算計上したことによる増でございます。

次に、2項1目保健衛生普及費、予算額141万7,000円、前年比60万円の減であります。19節の短期人間ドック補助金120万円でありますけれども、これにつきましては過去3年間の実績から本年度60名分の予算を計上しております。送迎つき検診は10名ということで、その辺の想定も含めての60名分を予算計上したところでございます。

次のページをお開きください。9款1項1目基金積立金、予算額65万円、前年比28万3,000円の減であります。25節の2段目、基金積立金、財政安定化支援事業45万2,000円についてであります。これにつきましては平成27年度の実績額で予算計上しておりますが、28年度の交付税算入額が確定次第補正する形となります。

次のページをお願いいたします。10款1項1目利子、予算額1,000円、前年度同額でございます。この目につきましては科目存置でありますので、特に説明はございません。

次のページをお開きください。11款1項1目償還金、予算額2万円と次の2項1目延滞金、予算額1,000円、これらにつきましても科目存置でありますので、特に説明はございません。

次のページをお開きください。12款1項1目予備費、予算額300万円、前年度同額であります。この目につきましても特に説明はございません。

以上で歳出の説明を終わります。

引き続き歳入の説明いたしますので、7ページ、8ページをお開きいただきたいと思います。歳入、1款1項1目一般被保険者国民健康保険税、予算額4,861万1,000円、前年比251万1,000円の減であります。1節医療給付費分現年課税分3,362万3,000円ではありますが、本年度の被保険者数を前年比20名減の540名と見込んでおります。1人当たり前年比2,414円減の6万2,496円、2名は退職者ということで、538名を乗じて予算を計上したところでございます。次の2節後期高齢者支援金分現年課税分1,004万5,000円ではありますが、これにつきましても被保険者数の見込みが540名ではありますが、1名当たりが前年比394円増の1万8,670円で、538名を乗じて予算計上したところであります。次の3節介護納付金分現年課税分431万3,000円ではありますが、この被保険者数は前年比10名減の190名と見込んでおります。1人当たり前年比777円増の2万2,942円で、2名分は退職者ということで、188名を乗じて予算を計上したところであります。次の4節から6節までについては、特に説明はございません。

次に、2目退職被保険者等国民健康保険税、予算額21万1,000円、前年比31万8,000円の減であります。1節から3節まで、退職被保険者見込み数は先ほど申

上げました一般を除いた分2名で見込んでおります。単価につきましては、一般の被保険者と同じ単価を使って算出したところであります。4節から6節までにつきましては科目存置でありますので、特に説明はございません。

次のページをお願いいたします。2款1項1目療養給付費等負担金、予算額3,984万2,000円、前年比795万8,000円の減であります。1節現年度分、療養給付費等負担金で3,984万1,000円ですが、医療給付分2,898万円、後期高齢者支援分791万7,000円、介護給付分294万4,000円の内訳となっております。

次に、2目高額医療費共同事業負担金、予算額146万1,000円、前年比18万5,000円の増であります。1節高額医療費共同事業負担金ですが、国が4分の1、道が4分の1、残り2分の1につきましては保険税で対応することとなっているところであります。

次に、3目特定健康診査等負担金、予算額24万円、前年比2万9,000円の減であります。1節で特定健康診査等負担金ですが、特定健診等に対する3分の1の補助であります。27年度当初申請額と同額を予算計上したところでございます。

次に、2項1目財政調整交付金、予算額100万1,000円、前年比10万7,000円の減であります。この目につきましては特に説明はございません。

次のページをお開きください。3款1項1目療養給付費等交付金、予算額123万1,000円、前年比18万9,000円の減であります。1節現年度分、療養給付費交付金で123万円ですが、平成27年度の交付金計算方法により算出しており、内訳としましては退職被保険者等療養給付費で100万3,000円、退職被保険者等療養費5万円、退職被保険者等高額療養費12万2,000円、高額介護合算療養費2万円、移送費1万円となっているところであります。この目の説明は以上であります。

次のページをお開きください。4款1項1目前期高齢者交付金、予算額7,665万9,000円、前年比3,518万3,000円の増であります。1節で前期高齢者交付金7,665万9,000円ですが、これにつきましては前期高齢者の遍在によります保険者間の不均衡を調整する制度でありまして、平成26年度の精算額と平成28年度の概算額の合算による額となります。平成28年度の概算額7,373万9,726円、これに対して平成26年度の精算額291万7,778円の増ということになりますので、その他に調整額2,124円を追加いたしまして7,665万9,000円となるものであります。これにつきましては、社会保険診療報酬支払基金のシミュレーションによります数値となっております。

次のページをお開きください。5款1項1目高額医療費共同事業負担金、予算額146万1,000円、前年比18万5,000円の増であります。1節高額医療費共同事業負担金146万1,000円。次の2目特定健康診査等負担金、予算額24万円、前年比2万9,000円の減であります。これらにつきましては、計算方法については先

ほど国の負担分で申しあげましたものと同じ方法で計上しているところであります。

次に、2項1目財政調整交付金、予算額996万円、前年比198万9,000円の減であります。普通調整交付金で995万9,000円でありますけれども、内訳といたしまして医療給付費分724万4,000円、老人医療拠出金分はございません。後期高齢者支援分で197万9,000円、介護給付費分で73万6,000円となっているところであります。

次のページをお開きください。6款1項1目高額医療費共同事業交付金、予算額711万円、前年比131万円の増であります。1節の高額医療費共同事業交付金で711万円でありますけれども、これにつきましては小規模保険者において予想外の高額な医療費が生じた場合に対処する事業、1件80万円以上の医療費が対象となっており、平成27年度上期の実績に基づきまして算出し、計上したところでございます。

次に、2目保険財政共同安定化事業交付金、予算額6,462万円、前年比1,192万円の増であります。1節保険財政共同安定化事業交付金6,462万円でありますけれども、これは都道府県内の市町村国保間の保険税の平準化及び財政の安定化を図る事業で、平成27年度より1件80万円未満の医療費全てが対象となっておりまして、平成27年度上期の実績に基づきまして算出し、予算計上しているところであります。

次のページをお開きください。7款1項1目利子及び配当、予算額19万8,000円、前年比4万円の減であります。この目につきましては特に説明はございません。

次のページをお願いいたします。8款1項1目一般会計繰入金、予算額1,448万4,000円、前年比102万8,000円の増であります。1節、保険基盤安定（軽減分）445万円であります。これにつきましては低所得者に対する軽減対策分で、道が4分の3、一般会計で措置する分が4分の1となっているところであります。次の保険基盤安定（支援分）251万円であります。これは中間所得層を中心に保険料負担を軽減するもので、国が2分の1、道が4分の1を負担するものであります。これらは一般会計で受け入れて国保会計へ繰り入れするというものでございます。次の財政安定化支援事業45万2,000円ありますが、これにつきましては交付税で措置される分ありますが、これにつきましても一般会計で受け入れております。次の出産育児一時金140万円ありますが、これにつきましては単価42万円の5件分の3分の2を町が負担するというので予算計上したところであります。次の短期人間ドック補助金120万円ありますが、これは町単費であります。1件2万円の60名分を本年度予算計上したところであります。次の事務費386万6,000円ありますが、歳出の総務費の一般管理費分202万8,000円、連合会負担金分51万6,000円、賦課徴収費分5万1,000円、運営協議会費分8万2,000円、保健事業の特定健診分97万2,000円、保健衛生普及費分21万7,000円の内訳となっているところであります。次の単独事業60万6,000円ありますが、これは一般会計において医療、福祉対策として医療費助成、乳幼児やひとり親、重度心身障害者の町単

費分の事業であります。町で上乗せしたことにより受診の増加につながるということで、国保に波及した分を一般会計から負担することになっているところでもあります。

次に、2項1目基金繰入金、予算額1,300万円、前年比2,200万円の減であります。1節の国保財政調整基金繰入金であります。基金取り崩し分でありまして、本年度につきましては1,300万円を見込んでいます。

次のページをお開きください。9款1項1目繰越金、これにつきましては科目存置でありますので、特に説明はございません。

次のページをお願いいたします。10款1項1目延滞金から3項2目雑入まで、これらにつきましても全て科目存置ですので、特に説明はございません。

以上で歳入の説明を終わらせていただきます。ご審議のほどよろしくをお願いいたします。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。

歳出、28ページ、29ページから質疑を受けます。28ページ、29ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 30ページ、31ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 32ページ、33ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 34ページ、35ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 36ページ、37ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 38ページ、39ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 40ページ、41ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 42ページ、43ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 44ページ、45ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 46ページ、47ページ、質疑ありませんか。

中川委員。

○3番（中川秀雄君） 1目の委託料と、あと次の2項1目の人間ドックの助成の関係なのですけれども、1目の関係の委託料の関係で旭川のがんセンターのほうにかかる分についても助成をしたいと、昨年まであったのかどうかわかりませんし、それと次の負

担金、補助及び交付金の関係で人間ドックの2万円掛ける60名というのはそれはそれでわかるのですが、上との関係で、町長の施政方針でもありましたけれども、町内の病院では受けられなくなったので、旭川のがんセンターにも定期的に募集して連れていきたいというふうなおっしゃっておりました。それで、特に前のほうの特定健診委託料の関係でがんセンターで受ける健診というのはどういうことなのかご説明願いたいと思うのですが。

○委員長（齋藤雅文君） 主幹。

○住民課主幹（内山 渉君） 13節の特定健診の送迎バス健診の委託料の関係だったのですが、特定健診とがん検診をあわせた形になります。特定健診でいう血液検査や心電図検査、あと医師の問診、そういった特定健診のものと、あと胃がん検診とか子宮がん検診、そういったがん検診をあわせて行うことになりますので、国保としては特定健診委託料の分を国保から支出するものでございます。がん検診については、一般会計の保健福祉のほうから支出するということになります。あと、人間ドックの関係は60名分今回とっていますが、これから町内の医療機関のほうで人間ドックは受けられないということになります。町外の3病院ぐらいが協力していただけるというふうな話を保健福祉課長のほうから聞いているところでございますが、そちらのほうに各自の個人で予約をしていただいて受けていただいて、その結果と領収書を持って窓口に来ていただければ、こちらのほうで2万円を支給するという流れになるかと思えます。

以上です。

○委員長（齋藤雅文君） 中川委員。

○3番（中川秀雄君） 特定健診の関係でいうと、例えば今までやっておった特定健診にがん検診がセットされると、それと人間ドックの検診の違いというのはどういうこと、どう違ってくるのですか。

○委員長（齋藤雅文君） 主幹。

○住民課主幹（内山 渉君） まず、大きくは、胃カメラとかはできないということですが、あとは、胃がん検診でバリウムはできると思うのですが、胃カメラはできない。あと、エコーができない。何項目かできないものがありますということですのでよろしいでしょうか。

○委員長（齋藤雅文君） ほかにこのページありますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 48ページ、49ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 50ページ、51ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 52ページ、53ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） それでは、事項別明細書、歳入、7ページのほうに移ってまいります。7ページ、8ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 9ページ、10ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 11ページ、12ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 13ページ、14ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 15ページ、16ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 17ページ、18ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 19ページ、20ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 21ページ、22ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 23ページ、24ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 25ページ、26ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 歳入歳出全般について質疑ありませんか。

中川委員。

○3番（中川秀雄君） 直接予算の関係ではないのですが、平成30年度からですか、国保運営の事業主体が各市町村から都道府県に移るということで、ちらっと聞いた範囲では、例えば道に移管したとしても全道一律ではなくて、それぞれの給付実績なりなんんりの実績に応じて市町村に保険料を提示して、各市町村の国保の担当係の方が賦課もし、徴収もするというようなシステムで、例えばうちもそうですけれども、今基金のほうから毎年多額の繰り入れをやっているという関係で、あるいは一般会計からの基準外繰り入れもしているというところですけども、それらは基本的に妨げないということも聞いてはいるのです。それで、まだうちの基金も残っているわけですし、ちょっと変な言い方かもしれませんが、その方法によっては基金の処分の仕方といいますか、それも随分変わってくると思うのです。その辺の都道府県に移行するに当たっての基本的な仕組みといいますか、基本的にどうなっているかということをご参考までにちょっとお聞かせ願いたいのですけれども。

○委員長（齋藤雅文君） 主幹。

○住民課主幹（内山 渉君） 今現在都道府県化になった場合に、市町村のほうに都道府県のほうから納付金を納めてくださいという、例えば一千何百万の納付金を納めてくださいと。納付金を納めるために各保険者で保険税として被保険者の方々に幾ら納めていただくかを算定して、納めてくださいという流れになるというふうに考えております。基金をそれに入れるのは妨げないということで、今ご指摘のとおりそういった話になっているという話は聞いているところでございます。ただ、詳しい北海道の内容が今ワーキングチームを組んでいるところで、各市町村と連合会と、あと道のほうでワーキングチームを組んで、算定のそういった仕組みづくり、具体的にはどうやってやっていくのとかを今行っている最中と聞いています。27年の1月に1回目の会合が行われたという話も聞いておりますので、その経過報告等がまだ出ていませんので、詳しい制度的な内容は、北海道でどうやってやっていくのかはまだ聞いていないところでございます。

以上です。

○委員長（齋藤雅文君） ほかに質疑ありますか。

春名委員。

○6番（春名久士君） 全般的な流れについてお聞きしたいのですが、まず支出の部分では保険給付費が約1,200万ぐらい対前年度比増額になっていると、それに対して収入は繰入金の前年度から見て約2,000万減額、それから健康保険税も280万ぐらい減額、それから国庫支出金も約800万ぐらい減額、だけれども前期高齢者交付金が3,500万増額というのが大まかな流れだと思うのですが、これはどう理解したらいいのか、ちょっとわからないので、どう理解したらいいのか教えていただきたいと思います。

○委員長（齋藤雅文君） 住民課主幹。

○住民課主幹（内山 渉君） 歳出のほうですが、保険給付費がここ二、三年伸びてきているのは事実でございます。それに伴って、65歳から74歳の前期高齢者の方の医療費も伸びているのは事実でございます。それによって前期高齢者交付金が伸びてきているのもこの流れの大きな流れになっております。前期高齢者交付金が伸びますと、それを引かなければだめな療養給付費等交付金が少なくなるということになってございまして。それに伴って、今の基金の繰入金も2,000万円ほど少なくなっているという状態でございます。今後もし保険給付費等が伸びていくのであれば、前期高齢者交付金も伸びていく方向になるかと思っております。以前に、もう七、八年前になりますが、9,000万近くまで前期高齢者交付金が伸びた時期がございましたので、そうすると基金からの繰り入れは少なくて済む、実際そうなるかと。ただし、保険給付費が落ちていきますと前期高齢者交付金も落ちていくと、それに伴ってやりくりで基金のほうに伸びていく可能性もあるという、そういった流れになっているというふうにご理解いただきたいと思っております。

○委員長（齋藤雅文君） ほかに質疑ありますか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） これをもちまして国民健康保険特別会計予算の質疑を終わらせていただきます。ご苦勞さまでした。

では、引き続きまして議案第35号 平成28年度幌加内町後期高齢者医療特別会計予算の説明を願います。

○住民課長（竹谷浩昌君） それでは、事項別明細書の歳出からご説明いたしますので、15ページ、16ページをお願いいたします。歳出、1款1項1目一般管理費、予算額21万2,000円、前年比4万円の増であります。この目につきましては特に説明はございません。

次に、2項1目徴収費、予算額4万1,000円、前年度同額であります。この目につきましても特に説明はございません。

次のページをお開きください。2款1項1目後期高齢者医療広域連合納付金、予算額2,593万5,000円、前年比157万2,000円の減であります。19節、事務費負担金136万7,000円ですが、市町村均等割10%、85万7,130円、高齢者人口割40%で28万4,985円、人口割で50%、22万4,540円の内訳となっているところでございます。これらについては、連合会の通知からでございます。次の保険料等負担金2,456万8,000円ですが、保険料の特別徴収分925万円、普通徴収分616万7,000円、滞納繰り越し分1,000円、保険基盤安定の繰り入れ分で915万円の内訳となっているところでございます。

次のページをお開きください。3款1項1目後期高齢者健診事業費、予算額98万4,000円、前年比10万8,000円の減であります。13節、健康診査委託料28万4,000円ですが、前年比9万2,000円の増となっております。これにつきましては、国保特会で申し上げました旭川がん検診センターで行っております送迎付きの検診を後期高齢者分で10名分予算計上したことによる増でございます。通常の健診については、前年度と同じ25名分の予算を計上したところでございます。次の19節負担金、補助及び交付金、人間ドック受診助成金70万円ですが、これにつきましては過去3年間の実績から、本年度につきましては35名分を予算計上したところでございます。

次のページをお開きください。4款1項1目保険料還付金、予算額1万円と次の2目還付加算金、予算額1,000円につきましては、特に説明はございません。

次のページをお願いいたします。5款1項1目予備費、予算額1,000円、この目につきましても特に説明はございません。

以上で歳出の説明を終わります。

次に歳入の説明をいたしますので、6ページ、7ページをお開きいただきたいと思います。歳入、1款1項1目特別徴収保険料、予算額925万円、前年比114万5,0

00円の減であります。1節現年度分925万円と次の2目普通徴収保険料、予算額616万8,000円、前年比47万9,000円の減、これにつきましては広域連合から示された保険料の総額1,541万7,000円を平成27年度10月以降の特別徴収と普通徴収の区分割合でそれぞれ振り分けたもので、特別徴収分で60%、925万円、普通徴収分で40%、616万7,000円としたところでございます。

次のページをお開きください。2款1項1目一般会計繰入金、予算額1,151万2,000円、前年比8万5,000円の減であります。1節事務費繰入金236万2,000円ではありますが、内訳といたしまして町の特別会計事務費分の一般管理費21万2,000円、徴収費4万1,000円で合計25万3,000円、健診事業費分ではありますが、広域連合では受診者に1割の負担を求めているところでもありますけれども、本町の場合従前から基本健診同様に受診者負担ゼロとすることから、被保険者の負担額相当分を措置しているものであり、4万3,000円を計上したところでございます。人間ドック助成分につきましては35名分といたしまして、長寿健康増進事業補助金1,000円を見込んで、これを差し引き69万9,000円としたところであります。その他に広域連合分の事務費、いわゆる共通経費でありますけれども、これについては136万7,000円となっているところであります。次の保険基盤安定繰入金915万円ではありますが、これにつきましては低所得者等への減額賦課に対する繰入金で、道が4分の3、一般会計で措置する分が4分の1となっておりまして、道の負担分については一般会計繰入金で後期特会のほうへ繰り入れするというものでございます。

次のページをお願いいたします。3款1項1目繰越金、予算額1,000円、前年度同額であります。この目については科目存置でありますので、説明は特にございません。

次のページをお願いいたします。4款1項1目延滞金から3項1目預金利子まで、全て前年度同額でございまして、特に説明はございません。

次に、4項1目後期高齢者医療広域連合受託事業収入、予算額24万1,000円、前年比6万9,000円の増であります。1節の健康診査受託料で24万1,000円ではありますが、歳出で申しあげました送迎つき検診10名分の追加によりまして6万9,000円の増となっているところであります。

次に、5項1目雑入、予算額3,000円、前年度同額であります。この目につきましては特に説明はございません。

以上をもちまして歳入の説明を終わらせていただきます。ご審議のほどよろしく願います。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。

事項別明細書、歳出、15ページから質疑を受けます。15ページ、16ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 17ページ、18ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 19ページ、20ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 21ページ、22ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 23ページ、24ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 続きまして、歳入のほうに移ります。6ページに戻ってください。6ページ、7ページ、質疑ありませんか。

○委員長(齋藤雅文君) 8ページ、9ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 10ページ、11ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 12ページ、13ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 歳入歳出全般について質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 歳入歳出、質疑がないことでよろしゅうございますね。これをもちまして後期高齢者医療特別会計予算の質疑を終了させていただきます。暫時休憩いたします。

休憩 午前11時25分

再開 午前11時35分

○委員長(齋藤雅文君) 休憩を閉じまして審査を続けます。

議案第36号です。幌加内町介護保険特別会計予算の説明及び質疑を行います。

事項別明細書、歳出より説明を願います。

保健福祉課長。

○保健福祉課長(中河滋登君) それでは、平成28年度介護保険特会について説明を申し上げます。

歳出、23ページ、24ページからでございます。

○委員長(齋藤雅文君) 課長、説明は座ってお願いします。

○保健福祉課長(中河滋登君) ありがとうございます。

1款1項1目一般管理費から次のページでございますけれども、2目認定調査費に關しまして特に申し上げることはございません。

続いて、27ページ、28ページをお開き願います。2款1項1目居宅一給付費、本

年度2, 550万円、前年比1, 286万4, 000円の減でございます。19節負担金、補助及び交付金、居宅サービス給付費2, 550万円、これに関しましては要支援1名増、要介護、積算上3. 5名減で積算をしておりますけれども、本年度通所介護につきまして制度改正により地域密着に移行、それから新たにできました地域密着型の特養ということで、この部分で1, 450万円の数字が動いております。

2目地域密着型サービス給付費、本年度1億1, 089万1, 000円、前年比8, 392万9, 000円の増でございます。19節負担金、補助及び交付金で地域密着型サービス給付費1億1, 089万1, 000円ですが、今ほど申しあげました1, 450万円がこちらのほうに乗りますので、増となっているところでございます。また、小規模多機能スマイルホームえんについては、前年度13名で積算しておりましたけれども、本年度は11名という人数で積算をしているところでございます。

3目施設サービス給付費、本年度2, 280万円、前年比7, 060万円の減でございます。19節負担金、補助及び交付金でございますけれども、病院から診療所へなることから、療養病床に係る給付費を一月分だけ見ているということで、5, 163万6, 000円の減額が主な要因となっているところでございます。

続きまして、4目福祉用具購入費及び5目住宅改修費については、前年同額を計上しておりますので、説明は割愛させていただきます。

6目居宅サービス計画給付費、本年度430万円、前年比38万1, 000円の減でございます。19節負担金、補助及び交付金でございますけれども、積算基礎となっております人数につきまして前年度47. 5人を見ておりましたが、本年度は47名ということで積算を実績に基づいてさせていただいております。

続きまして、7目につきましては審査支払手数料ですが、前年同額の計上でございます。

2項1目高額サービス費、本年度483万5, 000円、前年比69万7, 000円の減でございます。19節負担金、補助及び交付金ですが、介護療養病床などの施設入所で340万円の減、逆に特養施設、地域密着で270万3, 000円ほど増額となった計上でございます。

続いて、2目の高額医療合算サービス費につきましては、前年同額の計上ですので、説明は割愛させていただきます。

続いて、3項1目特定入所者サービス費、本年度2, 120万円、前年比1, 154万1, 000円の増でございます。これにつきましては、新たにできました特養施設開所により同額増額となっているところでございます。

次のページをお願いいたします。3款1項1目財政安定化基金拠出金については科目存置ということですので、説明を割愛させていただきます。次のページをお願いいたします。4款1項1目介護予防施策事業費、本年度296万9, 000円、前年比30万6, 000円の減でございます。これにつきましては、2節給料から16節原材料費

まで、介護予防施策に係る事業を例年どおり実施することで必要額を計上しているところでございます。19節負担金、補助及び交付金で総合事業精算金1,000円ということでございますけれども、これにつきましては他の市町村で既に新たな総合事業を実施している場合に、その市町村の特養施設への入所者が出た場合の住所地特例に対応するために、科目といたしますか、1,000円の予算を計上させていただいております。

2項1目包括的支援事業費、本年度331万円、前年比4万1,000円の増でございますが、これについては例年ご説明しておりますが、地域包括支援センター職員の介護福祉士1名分の給与をここで計上しているところでございます。

続いて、2目任意事業費、本年度30万円、前年比10万円の増でございますけれども、これにつきましては前年比1名増の3名分を計上しているところでございます。

次のページをお願いいたします。5款基金積立金から次のページ、6款諸支出金、続いて7款公債費、次のページ、39ページ、40ページになりますが、8款予備費までについては、例年どおりの予算計上となっておりますので、説明は割愛させていただきます。

それでは、歳入のほうを説明いたしますので、6ページをお開きいただきと思います。1款1項1目第1号被保険者保険料、本年度3,093万4,000円、前年比67万3,000円の増でございます。前年比2名増の642名として算出をしているところでございます。

次のページをお願いいたします。2款1項1目介護給付費負担金、本年度3,218万8,000円、前年比137万6,000円の増でございます。これにつきましては、給付費のうち、施設分15%、その他20%の割合でルールどおり算出して計上しているところでございます。

続いて、2項1目の調整交付金で本年度1,521万7,000円、前年比87万2,000円の増でございますけれども、これにつきましても介護給付費の総額の7.98%の割合で見込み、計上しているところでございます。

2目地域支援事業交付金、これについては前年同額の179万3,000円でございますが、例年説明しておりますが、法定分で介護予防施策事業上限額249万5,000円の25%、包括的支援事業上限額300万円の39%の負担割合で計算しているところでございます。

次のページをお開き願います。3款1項1目介護給付費交付金、本年度5,339万4,000円、前年比305万9,000円の増でございます。これにつきましても保険給付費の28%の負担割合ということで計上しているところでございます。2節の過年度分につきましては、今まで説明してきた部分もございますが、科目存置ということでご了解いただきたいというふうに思います。

2目の地域支援事業交付金については、前年同額、これにつきましても上限額249万5,000円の28%の負担割合で計算しております。

続きまして、4款1項1目介護給付費負担金、本年度2,978万5,000円、前年比217万7,000円でございますけれども、これにつきましても保険給付費の施設分の17.5%、その他分12.5%の割合で計算をさせていただいて計上しております。2節の過年度分については、科目存置でございます。

続いて、2項1目地域支援事業交付金、これについては前年同額の89万6,000円、これについても先ほど申しました介護予防施策事業の上限額、それから包括的支援事業上限額、それぞれ一定のルールで定められた負担割合で計算、計上しているところでございます。

次のページをお願いいたします。5款財産収入、1目利子及び配当でございますけれども、これについては特に申し上げることはございません。

次のページをお願いいたします。6款1項1目一般会計繰入金、本年度2,866万5,000円、前年比158万1,000円の増でございます。介護給付費繰入金2,383万4,000円ですが、これは保険給付費の12.5%の負担割合、事務費繰入金272万6,000円については歳出の1款総務費の全額となっております。地域支援事業繰入金173万6,000円、これも先ほどから申しておりますが、介護予防施策の上限249万5,000円の12.5%、包括的支援事業上限300万円の19.5%、その上限額を超えた自主財源分の負担を計上しているところでございます。低所得者保険料軽減事業で36万9,000円を計上してございます。

続いて、2項1目基金繰入金、本年度629万5,000円、前年比103万6,000円の増でございますけれども、1節基金繰入金、介護給付費準備基金繰入金で同額でございますが、本会計全体の所要額から特定財源を差し引いた不足額を基金を取り崩して充当するものでございます。

次のページをお開き願います。7款の繰越金、その次のページの8諸収入については、例年どおりの計上でございますので、特に申し上げることはありません。

戻っていただきまして、3ページ、4ページをお願いいたします。歳入歳出予算事項別明細書でございますけれども、歳入歳出とも20億12万円として収支のバランスをとっているところでございます。

最終ページには先ほど申しました職員の給与費の明細書をつけておりますので、後ほどお目通しをいただければと思います。

以上で説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりましたので、これから質疑に入ります。事項別明細書、歳出、23ページから質疑を受けます。23ページ、24ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 25ページ、26ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 27ページ、28ページ、質疑ありませんか。

中川委員。

○3番（中川秀雄君） 申しわけないです。先ほど聞き逃してしまったので、2目の地域密着型サービス給付費の関係で朱鞠内のえんと、あと新しくできるテルケアのほうで人数的にはそれぞれ何人で見ているのか、ちょっとお知らせ願いたいのですが。

○委員長（齋藤雅文君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長（中河滋登君） スマイルホームえん、小規模多機能施設につきましては、11名で人数を見てございます。それから、新たにできます地域密着型特養につきましては、29床ありますので、29名分ということで見てございます。よろしくお願いたします。

○委員長（齋藤雅文君） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 29ページ、30ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 31ページ、32ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 33ページ、34ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 35ページ、36ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 37ページ、38ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 39ページ、40ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） それでは、歳入に移ります。6ページに戻ってください。6ページ、7ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 8ページ、9ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 10ページ、11ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 12ページ、13ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 14ページ、15ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 16ページ、17ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 18ページ、19ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 20ページ、21ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 歳入歳出全般について質疑を受けます。歳入歳出全般について質疑ありませんか。

春名委員。

○6番(春名久士君) 総体の流れについてちょっとお聞きしたいのですけれども、支出総金額が2億ぐらいで、対前年度比1,000万ぐらい増額になっていますけれども、これは保険給付費の増額ということで、地域密着型の特養に移行した主な増額だと思うのですけれども、これに対して介護保険料そのものは60万ちょっとぐらいの増額で、意外と保険料の増額は少ないなと思って見ているのですけれども、そのほかにもろもろのものが増額されています。ただ、ここで1つ、繰入金が3,400万ということですので、大きいなということで、この繰入金の中で本来であれば保険料にはね返る分が繰入金で賄われているという金額がどれぐらいなのかということと、例えば2億の総予算の割にして3,400万の繰入金というのはどういうレベルにあるのか、多いのか、少ないのか、妥当なのか、そこら辺わかれば教えていただきたいと思います。

○委員長(齋藤雅文君) 保健福祉課長。

○保健福祉課長(中河滋登君) 詳細な資料につきましては後ほど提出をさせていただきますので、3,400万が妥当かどうかというようなことでございますけれども、第6期の介護保険計画の中で月額4,500万円を定めたところでございますけれども、その計画に基づきまして事業を実施してきておりますので、3,400万円が特別高額であるとか、そういったことはないというふうに認識してございますので、ご理解を賜ればと思います。よろしく願いいたします。

○委員長(齋藤雅文君) 係長。

○保健福祉課介護保険係長(安芸 修君) 中河課長が申し上げましたとおり、繰入金の部分で若干私のほうから補足をさせていただきたいと思います。

3,400万円の内訳でございますけれども、他会計繰入金、1項1目一般会計繰入金ということで、一般会計繰入金につきましては、先ほど中河課長のほうから説明ありましたが、法定割合に基づきますそれぞれの法定分の繰入金ということになりますので、これにつきましては全国どこの市町村も決まった繰り入れとなっております。一方で2項1目の基金繰入金、介護給付費準備基金繰入金でございますけれども、これにつきましては先ほど中河課長もございましたが、第6期介護保険料を定めた際に標準額月額4,500円というふうに定めておりますけれども、その差額分につきましては保険料で賄えない部分につきましては給付費で負担する部分が足りない分についてこの準備基金で

繰り入れるというふうにしております。この準備基金の繰り入れにつきましては、現在平成27年度末を見越してお話でございますけれども、基金残高、現在1,270万程度でございます。また、27年度の決算でちょっとお話しさせていただきますと、本年度の決算予想では総給付費1億5,000万程度の予定でございます。その結果、保険料等々負担部分を検討したところ、今年度27年度については準備基金の繰入金については3月補正のほうでも計上させていただいておりますが、ほぼないような状況、もしくは準備基金に繰り入れできるような状況になるのではないかとというふうに今現在決算のほうを算定しているところでございます。ということで、大きく給付費が実績に伴って総額1億9,000万円の予算、給付費に対して出しておりますけれども、この実績につきましてはもちろん施設入所、介護受給者の方の割合に応じて大きく実績が影響してくるものでございますので、それに伴ってこの準備基金の繰入金につきましても大きく変動するというふうに考えているところでございます。

以上で終わります。

○委員長（齋藤雅文君） ほかに全般についてありますか。

中川委員。

○3番（中川秀雄君） 今の春名委員の質問とも関連するのですが、先ほど私のほうで質問した1項2目、介護サービス等諸費の関係で2目の関係、えんのほうはそれなりの実績に基づいての見積もりだと思うのですが、テルケアのほうは定員いっぱい、29名ということで見ているので、それで現実的に今特にテルケアのほうでは職員の体制の問題やら、あるいはとりあえず病院から移る人たちのほかにどの程度あるのか私にはわかりませんが、4月スタート時点で職員の関係やらもありまして受け入れというのは実際どのぐらいになるのかということ、あと職員、寿光会の関係なのですが、もちろん寿光会の関係ですからここで聞いていいのかわかりませんが、介護職員が11月の段階でかなり不足していると、鋭意今募集をかけているところだという関係をおっしゃっておりました。そんなことで、その辺のスタッフの体制がスタート時点でどの程度になるのかの見通しについてお伺いしたいと思います。

○委員長（齋藤雅文君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長（中河滋登君） まず、スタート時点でございますけれども、病院の介護療養病床からの移行ということで12名の入所者がまず最初となります。ユニット的にはスリーユニットで考えておりますが、人数的な関係でツーユニットをまず最初に稼働させるということでスタートさせていただきたいと思っております。その後29名ということでございますので、順次町内のケアマネジャーさん等を通じて該当になる方を情報的には、実際に入所に関しましては運営される寿光会さんのほうで判定をされるのですが、そういう関係は情報共有をしながら進めていきたいというふうに考えております。時期的には5月ぐらいからかなというふうに考えております。まず4月12名でスタートして、随時募集を5月からかけて、なるべく早い時期に予算計上した29

名に持っていきたいというふうに思っています。

それから、スタッフの関係でございますけれども、寿光会さんのほうでも何せ4月1日開所でございますので、ある程度大きな圭泉会グループという中にも入ってございますので、その中からも応援していただく職員をこちらのほうに派遣していただいた中で、施設運営で不足するような職員、その関係についてはグループ全体で賄ってきていただいている部分もありますので、随時また募集をかけて、正規職員になっていく部分がある最終的に埋まるというふうに考えておりますが、このデルケアを運営する上で今のところスタッフで大きなトラブルになるような、そういった状況ではないということでご理解をいただきたいと思っております。よろしくお願ひします。

○委員長（齋藤雅文君） 中川委員。

○3番（中川秀雄君） 地域密着型特養の場合、いわゆる居住地特例ですか、多分うちのほうでも例えば沼田だ、旭川だということで入所させていただいているという関係あると思う。それはうちの保険会計のほうから支払っていると思うのですけれども、例えば今とりあえず病院に入られていた人が12名ほど移られると、特養ですから国の方針等もありまして要介護度3以上の方、新たには多分入れないと思うのです。そういう意味からいったら、町内在住で新たに入る方というのはそんなにいないのかなというふうにも考えますし、そうだとするならば、ほかの地域から入居者を募るということになるかと思うのですが、それで先ほど言った居住地特例というのですか、それはこの場合どうなるのでしたっけ。

○委員長（齋藤雅文君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長（中河滋登君） 地域密着型特養になりますので、住所地は幌加内町の方というふうになりますので、町外の方でこちらに入るということはないのですけれども、ただ和寒、剣淵と士別も、幌加内に関しては協定を結んでおりますので、その住所地の方はこちらの地域密着型特養に入居可能というふうになっておりますので、入居者がなかなか集まらない場合にはそういった協定を結んでいる市町の方の入居という可能性はございます。

○委員長（齋藤雅文君） 係長。

○保健福祉課介護保険係長（安芸 修君） 今ほどのお話の補足となりますが、この3町は住所地特例という扱いではなくて、事前協定を結んでいるという中で3町で、1市2町ですか、士別、剣淵、和寒さんのほうで特養の待機者の方で入居を希望されるような方がいた場合には幌加内町のデルケアのほうに、もちろんそれは施設のほうで入所判定会議をやって決定することになりますけれども、そちらのほうで入居オーケーということであれば、もちろん士別市、和寒、剣淵さんの保険料負担ということで入所していただくという事前協定を結んでいるものでございます。現在、先ほど12名という中で、移行の方まず12名、病院から、そこがツーユニット。5月ぐらいをめどに、町内にいる方、ケアマネさんを通じて今情報収集をしております。それについては、今大体四、

五名程度というふうに見込んでおります。ツーユニットについては十分稼働できるだけのスタッフはおりますので、その中でツーユニットはまず可能。法人さんのほうといたしましては、いきなりすぐ満床にして失敗が起きてもいけないということでございますので、職員の募集のほうは常に行いながら、受け入れ態勢が整ってから徐々にふやしていきたいというふうに意向は聞いておりますので、ご理解のほどをお願いしたいと思います。

○委員長（齋藤雅文君） 何かほかに今聞いておきたいことありますか、質疑。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） ないようでしたら、これをもちまして介護保険特別会計予算の質疑を終わらせていただきますが、よろしいですね。

暫時休憩いたします。

（午後 0時08分 7番（田丸利博君）退席）

休憩 午後 0時08分

再開 午後 1時27分

○委員長（齋藤雅文君） それでは、休憩を閉じまして審査を続けます。

議案第37号 平成28年度幌加内町国民健康保険病院事業会計予算の説明及び質疑を行います。

説明を願います。

病院事務長。

○病院事務長（蔵前裕幸君） それでは、平成28年度病院事業会計の説明をさせていただきます。

まず、収益的支出から説明をさせていただきますので、予算書7ページ、8ページをお開き願います。

○委員長（齋藤雅文君） 着席して説明してください。

○病院事務長（蔵前裕幸君） では、この後は着席のまま説明をさせていただきます。

1款1項1目給与費、本年度3,248万2,000円、前年比マイナスの2億3,078万2,000円です。1節給与、医師給、看護職給、事務職給になっています。医師給は1名、看護職給が2名、事務職給3名、それぞれ3カ月分の予算計上であります。2節手当ですが、2行目、期末、勤勉手当は全職員の6月支給分に係る分を予算計上させていただいております。4行目、時間外手当につきましては、3月分が次年度において支出することから、6月分までの4カ月分を予算計上させていただいております。医学研究手当についても同様でございます。医師確保手当は3カ月分となっています。これは、一昨日可決決定いただきました議案第23号、特勤手当の改正により予算計上させていただいているところでございます。エックス線手当でございますが、これは3

月分1カ月分の予算計上となっています。2行飛びまして宿日直手当223万1,000円の計上でございますが、これも3月分と6月分までの予算を計上させていただいております。夜勤手当につきましては、3月の1カ月分となっています。児童手当でございますが、支給対象月を6月までとして予算を計上させていただいております。夜間看護業務手当、オンコール手当につきましては、3月分の1カ月分の予算計上です。3節賃金、臨時医師賃金につきましては3月分と4月分の2カ月分を予算計上させていただいております。臨時介護員賃金につきましては、日給、時給の介護職の3月分の1カ月分の予算計上であります。臨時看護師賃金でございますけれども、3月分も含めた予算計上とさせていただいているところでございます。1行飛びまして、臨時技術職員賃金、一般会計の4款で説明したとおり、臨時の薬剤師とエックス線技師、2名分の3カ月分を予算計上させていただいております。4節法定福利費でございますが、それぞれ3カ月分の予算計上をさせていただいているところでございます。

次のページをお開きください。2目材料費、本年度2,219万6,000円、前年比マイナス2,877万1,000円です。1節薬品費につきましては、支払い月が2カ月おくられていることから、2月分から6月分までの5カ月を予算計上させていただいております。通常会計が閉まらなければ12カ月分の予算計上になるのですが、会計が閉まりますことから、このような措置をとらせていただいております。2節診療材料費につきましては、薬品とは1カ月ずれておまして、1カ月分おくられていることから、同様に3月から6月まで4カ月分の予算計上をさせていただいているところでございます。

3目経費、本年度1,590万3,000円、前年比マイナス6,270万2,000円です。1節、3節については、特に説明はございません。3カ月分の予算計上となっています。5節光熱費、電気料につきましては、請求月が2カ月おくられていることから、5カ月分の予算計上となっています。6節燃料費につきましては、3カ月分の予算計上です。7節食糧費については、科目存置でございます。8節通信運搬費、それぞれ3カ月分の予算計上となっています。9節手数料、中身でございますけれども、簡易専用水道水質検査手数料、それから車検手数料1台分、介護サービス情報票調査手数料、これは介護療養型の調査手数料となっています。などなどを含め8万9,000円の予算計上とさせていただきました。

次のページをお開きください。10節賃借料でございますけれども、これも3カ月分の予算計上となっています。ただ、下から2行目、リハビリ治療器借り上げ料につきましては、再リースのため年額の予算計上となっています。支出が6月までに行われるので、年額を確保させていただいておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。11節委託料、コンピューター保守点検業務委託料から産業廃棄物処理業務委託料までは、3カ月分の予算計上となっています。一番下、給食業務委託料につきましては、4月から順次特別養護老人ホームに入院患者が移行することから、一応1カ月分の予算を計上

させていただいているところでございます。14節保険料、1行目の自動車任意保険料から一番下、病院賠償責任保険料まで、これにつきましては年額の予算を計上させていただいております。年契約のため、年額とさせていただきます。ただし、火災保険料、賠償保険につきましては中途解約となりますことから、払い戻しがあるものでございます。15節修繕料、車両修繕につきましては、訪問看護車の車検と修理を予定しております。一番下の特別修繕料、現在病院で持っています車庫2棟3台分を診療所のそばに移設するための特別修繕として予算を計上させていただきました。17節負担金、医師勤務環境改善交付金につきましては、帰省旅費として交付する分で1回分を予算計上させていただいております。18節公課費については、特に説明ございません。次のページをお願いいたします。19節報償費150万円の計上です。6月に支給する薬剤師分の報償費を予算計上させていただいております。

4目減価償却費、本年度425万2,000円、前年比マイナス1,275万3,000円です。1節建物減価償却費から3節機械器具減価償却費まで、それぞれ3カ月分を予算計上させていただいております。

5目資産減耗費については、特に説明ございません。

6目研究研修費44万2,000円、前年比マイナス132万8,000円です。1節図書費から3節報償費まで、それぞれ3カ月分を予算計上させていただいております。4款で説明すればよかったのですけれども、9カ月分につきましては一般会計、4款のほうに予算計上させていただいておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。

2項1目一時借入金利息から次のページ、4項1目貸倒引当金までは特に説明がございませんので、省略をさせていただきます。

次に、収益的収入の説明をいたしますので、2ページ、3ページをお開きいただきたいと思っております。収益的収入、1款1項1目入院収益、本年度153万1,000円、対前年比マイナスの4,756万5,000円です。1節、入院診療報酬でございますが、これにつきましては2月、3月分の診療報酬を予算計上させていただいております。

2目外来収益、本年度2,795万9,000円、前年比マイナスの8,613万2,000円です。1節、外来診療報酬につきましては、2月から6月までの診療分を予算計上させていただいております。

3目他会計負担金、本年度1,584万1,000円、前年比マイナスの4,752万3,000円です。1節、一般会計負担金でございますが、繰り出し基準により、救急医療の確保に要する経費と保健衛生行政事務に要する経費、それぞれ3カ月分の予算計上となっております。

4目その他医業収益、本年度1,872万7,000円、前年比マイナスの8,063万9,000円です。1節、健康診断等公衆衛生活動収益につきましては、3月から6月までの4カ月分を予算計上させていただいております。2節、3節については、特に説明ございません。4節検査収入、人間ドック収入を予算計上させていただいております。

ますが、実質4月からは人間ドックの受け付けをしておりませんので、皆減になる予定でございますので、ご理解をいただきたいと思っております。5節介護収益、介護療養施設サービス収益につきましては、2月から4月診療分の予算計上とさせていただきます。短期入所についても同様です。訪問看護収益、訪問リハビリ収益につきましては、2月から6月までの5カ月分を予算計上させていただきますところでございます。6節その他医業収益については、特に説明はございません。

2項、次のページをお開きください。1目受取利息については、特に説明はございません。

2目患者外給食収益、本年度10万円で、前年比マイナス55万円です。1節患者外給食収益につきましては、3月、4月分の2カ月分を予算計上させていただきました。

3目他会計補助金、本年度55万1,000円、前年比マイナスの302万円、1節で一般会計補助金です。繰り出し基準により、医業費補助の目的で交付される分、3カ月分の予算計上となっています。

4目他会計負担金、本年度666万9,000円、前年比マイナス6,045万4,000円です。1節、一般会計負担金でございますが、これも繰り出し基準により、不採算地区交付金、附属診療所の経費など、それぞれ3カ月分の予算計上となっているところでございます。

5目消費税及び地方消費税還付金につきましては、特にありません。

6目その他医業外収益についても特にありません。

7目長期前受け金戻入、本年度402万8,000円、前年比マイナス1,208万7,000円です。国庫補助金から一般会計繰入金まで、減価償却費に対応する分として3カ月分を予算計上させていただきますところでございます。

以上で収益的収入の説明を終わります。

それで、17ページから22ページの資本的収支につきましては、本年度予算計上がありませんので、説明を省略させていただきますと思っております。

なお、23ページ、24ページには平成27年度予定貸借対照表、25ページ、平成27年度予定損益計算書、26ページには平成28年度予定キャッシュフロー計算書、27ページ、28ページには平成28年度予定貸借対照表、29ページ、平成28年度予定損益計算書、それから30ページから35ページには給与費明細書をそれぞれ添付させていただきますので、これについては後ほどお目通しをいただきたいと思っております。

以上で病院事業会計の説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願いをいたします。
○委員長（齋藤雅文君） それでは、説明が終わりました。

これから質疑に入ります。収益的支出の7ページから質疑を受けます。7ページ、8ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

- 委員長（齋藤雅文君） 9ページ、10ページ、質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 11ページ、12ページ、質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 13ページ、14ページ、質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 15ページ、16ページ、質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 収益的収入の2ページから質疑を受けます。2ページ、3ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 4ページ、5ページ、質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 収益的収入、支出全般について質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） ないようでございます。
これをもちまして国民健康保険病院事業会計予算の質疑を終わらせていただきます。
暫時休憩いたします。

休憩 午後 1時43分
再開 午後 1時44分

- 委員長（齋藤雅文君） それでは、休憩を閉じまして審査を続けます。
これから議案第38号 平成28年度幌加内町簡易水道事業特別会計予算の説明及び質疑を行います。
事項別明細書、歳出より説明を願います。
建設課長。
- 建設課長（小野田倫久君） それでは、簡易水道会計の歳出からです。1款1項1目一般管理費で予算額が50万7,000円、前年比で4万7,000円の増でございます。
- 委員長（齋藤雅文君） 課長、時間あれですから、座って説明してください。
- 建設課長（小野田倫久君） この目については特に説明はございません。
次に、2目財産管理費、予算額3,323万円、前年比497万8,000円の増でございます。ここでは13節委託料で水道事業統合認可申請業務委託料939万4,000円でございますが、概要説明でもお話ししましたけれども、水道事業統合に必要な申請業務、それを作成する予算を計上しているものでございます。次に、15節工事請

負費のほうでございます。15節では水道メーター器の取りかえ工事で258万2,000円の計上でございます。計量法に基づくメーター器の更新で、今年度は44基の取りかえを予定しております。このページは以上でございます。

次のページをお開きください。次のページ、21ページ、22ページですけれども、このページの説明は特にございません。

次のページをお開きいただきます。23、24ページです。2款1項1目元金、予算額2,894万7,000円、前年比で359万6,000円の増でございます。23節償還金、利子及び割引料で償還元金で2,894万7,000円でございますが、内訳としましては過疎債分で466万3,544円、簡水債分で2,428万2,820円の計上となっております。

次に、2目利子です。予算額が860万8,000円、前年比で98万9,000円の減でございます。23節償還金、利子及び割引料で償還利子860万8,000円でございますけれども、内訳としましては過疎債分が58万1,314円、簡水債分が802万6,004円となっております。また、平成27年度末の起債残高は、過疎債で9,954万9,158円となっております。簡水債のほうでは3,658万2,684円となっているところでございます。

次のページをお開きください。3款1項1目予備費です。予算額1,000円で前年と同額の計上としております。この目については科目存置ですので、特に説明はございません。

次に、歳入の説明をしますので、6ページ、7ページのほうをお開きください。1款11目工事負担金及び2項1目工事分担金につきましては、科目存置でございます。特に説明はございません。

次のページをお開きいただきたいと思います。8ページ、9ページです。2款1項1目水道使用料、予算額2,197万2,000円、前年比で27万円の減でございます。1節現年度分で水道使用料2,197万1,000円でございますが、これは基本料金で前年比で10件減の695件分、超過料金で前年比3,378トンの減ということで8万5,731トンを見込んでいるところでございます。

次に、2項1目諸手数料になります。この目につきましては科目存置でございますので、特に説明はございません。

次のページをお開きいただきたいと思います。3款1項1目財産貸付収入です。予算額237万7,000円、前年比で3万5,000円の減でございます。1節現年度分でメーター器貸付料でございます。237万6,000円でございます。これは、前年比10件減の695件分で見込んでいるものでございます。

次のページをお開きください。4款1項1目他会計繰入金でございます。予算額が4,693万3,000円、前年比で793万7,000円の増でございます。1節の一般会計繰入金で4,693万3,000円でございますけれども、これは一般会計歳出で

説明いたしましたとおり、繰り出し基準内分と基準外分を同額繰り入れてございます。

次のページをお開きください。5款1項1目繰越金です。この目につきましては科目存置ですので、特に説明はありません。

次のページをお開きください。6款1項1目延滞加算金及び2項1目預金利子と3項1目雑入、これら全て科目存置でございますので、説明は特にございません。

以上で歳入の説明を終わります。

次に、3ページ、4ページのほうをお開きください。事項別明細書の総括でございます。歳入歳出の予算総額をそれぞれ7, 129万3, 000円として歳入歳出のバランスをとっております。

なお、前回協議会のときに水道の統合の関係でちょっとご説明させていただいた件で1件だけ訂正をお願いしたい件がありまして、この場をおかりして説明したいと思えます。前回長留内雑用水も幌加内簡水のほうに入れてというところで、幌加内簡水に入れるときにまだしばらくは使うという話をちょっとしたのですけれども、大変ご迷惑をおかけしました。実は、年間に約300万ぐらいのランニングコストがかかっております。それを使うことでお金を余計かけてしまうということになりますので、それは移行した後には使わないで、施設はなくすことはできないので、そのまま置かなければいけないですから、その維持だけはしますけれども、機能の維持はしないという方向で考えておりますので、ご理解をいただきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

以上で歳入歳出のほうの説明を終わります。ご審議のほどをよろしくお願いいたします。

○委員長（齋藤雅文君） それでは、説明が終わりました。

これから質疑に入ります。事項別明細書、歳出、19ページから質疑を受けます。19ページ、20ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 21ページ、22ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 23ページ、24ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 25ページ、26ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） では、続きまして歳入のほうに移ります。6ページから質疑を受けます。6ページ、7ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 8ページ、9ページについて質疑を受けます。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 10ページ、11ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 12ページ、13ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 14ページ、15ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 16ページ、17ページ、質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 歳入歳出全般について質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) ないようでございます。

それでは、これをおもちまして簡易水道事業特別会計予算の質疑を終わらせていただきます。ご苦労さまです。

続きまして、議案第39号 平成28年度幌加内町下水道事業特別会計予算の説明及び質疑を行います。

事項別明細書、歳出より説明を願います。

建設課長。

○建設課長(小野田倫久君) 座ったままで失礼します。

それでは、下水道事業会計の歳出から説明いたします。1款1項1目一般管理費です。予算額が13万7,000円、前年比2,000円の増でございます。このページについては特に説明はございません。

次の2目財産管理費、予算額1,531万6,000円、前年比で66万7,000円の減でございます。この目の前年比減の理由といたしましては、昨年度に地域密着型介護老人福祉施設建設に伴う排水の屋外配管工事等が計上されていたものがありましたので、減となるものでございます。11節のほうの需用費の関係ですけれども、ここに特別修繕で230万1,000円でございますが、計上がございます。内訳としましては、農業集落排水処理施設の機械設備のオーバーホールと前処理室の消毒槽の排気ファンの交換修繕、これを計上させていただいております。このページにつきましては以上です。

次のページをお開きください。次は3目浄化槽管理費です。予算額2,115万9,000円、前年比で4万2,000円の増でございます。ここでは15節の工事請負費で合併処理浄化槽の設置工事777万6,000円でございますが、計上させていただいております。これは、水洗トイレ設置希望があった場合対応するために3基分を予算に計上するものでございます。このほかは特に説明ございません。

次のページをお開きください。2款1項1目元金です。予算額2,724万円、前年比で67万3,000円の減でございます。23節償還金、利子及び割引料で償還元金2,724万円でございます。内訳は、過疎債分で172万2,386円、下水道債分

で2, 551万6, 796円の計上となっております。

次に、2目利子です。予算額が660万3, 000円、前年比で58万1, 000円の減でございます。23節償還金、利子及び割引料、償還利子で660万3, 000円でございます。内訳は、過疎債分で6万2, 812円、下水道債分で653万9, 797円の計上となっているところでございます。なお、平成27年度末の起債残高は、過疎債で793万1, 470円、下水道債分で3億8, 622万8, 086円となっております。このページは以上でございます。

次のページをお開きください。3款1項1目予備費で、予算額が1, 000円で前年同額でございます。この目については科目存置でございますので、特に説明はございません。

以上で歳出のほうの説明を終わります。

次に歳入の説明をしますので、8ページ、9ページのほうをお願いいたします。1款1項1目浄化槽使用料でございます。予算額が1, 008万9, 000円、前年比で23万5, 000円の増でございます。1節現年度分で浄化槽使用料1, 008万8, 000円でございます。ここでは前年比5件増の204件分を見込んでいるところでございます。

次に、2目下水道使用料でございます。予算額1, 574万円、前年比で58万3, 000円の減でございます。1節現年度分で下水道使用料1, 573万9, 000円でございます。ここでは基本料金で前年比6件減の435件、それから超過料金で前年比2, 771トン減の4万735トンを見込んでいるところでございます。ここにつきましては以上でございます。

次のページをお開きください。2款1項1目他会計繰入金です。予算額3, 792万4, 000円、前年比で152万9, 000円の減でございます。1節一般会計繰入金で3, 792万4, 000円でございますが、これは一般会計歳出で説明しましたとおり、基準内分と基準外分の繰出金を同額繰り入れるものでございます。

次のページをお開きいただきたいと思います。3款1項1目繰越金で予算額1, 000円で、前年同額でございます。この目については科目存置でございますので、特に説明はございません。

次のページをお開きいただきたいと思います。4款1項1目雑入で予算額2, 000円で前年同額でございます。このページについても科目存置で、特に説明はございません。

次のページをお開きください。16ページ、17ページになります。5款1項1目下水道事業債で予算額670万円、前年同額でございます。1節下水道事業債で個別排水処理施設整備事業債670万円でございます。起債対象の208万円を3基分、あと消費税を乗せた分を計上させていただいております。これは、3基分ということで財源の予定をしているものでございます。

以上で歳入の説明を終わります。

次に、5ページ、6ページのほうをお開きいただきたいと思います。事項別明細書の総括でございます。歳入歳出予算総額をそれぞれ7,045万6,000円として、歳入歳出のバランスをとるものでございます。

以上で説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。

事項別明細書、歳出、19ページから質疑を受けます。19ページ、20ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 21ページ、22ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 23ページ、24ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 25ページ、26ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） では、続きまして歳入、8ページから質疑を受けます。8ページ、9ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 10ページ、11ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 12ページ、13ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 14ページ、15ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 16ページ、17ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 歳入歳出全般について質疑を受けます。全般について質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） それでは、これをもちまして下水道事業特別会計予算の質疑を終わらせていただきます。ご苦労さまでした。

暫時休憩いたします。

休憩 午後 2時05分

再開 午後 2時06分

○委員長（齋藤雅文君） それでは、休憩を閉じまして審査を続けます。

議案第40号 平成28年度幌加内町奨学資金特別会計予算の説明及び質疑を行います。

事項別明細書、歳出より説明を願います。

教育次長。

○教育次長（清原吉典君） 奨学資金特別会計予算の歳出から説明しますので、18ページ、19ページをごらんください。1款1項1目奨学資金……

○委員長（齋藤雅文君） 次長、説明長くなるから着席どうぞ。

○教育次長（清原吉典君） 1款1項1目奨学資金、本年度600万円、比較としまして前年対比マイナス36万円の減でございます。内訳としまして、大学3名、医大の方1名、専門学校3名、それと高校2名、幌高生で1名分の計10名分の予算を計上しているところでございます。そのうち継続が3名、新規として7名を見込んで予算措置をしているところでございます。また、入学支度金につきましては、希望する方が対象となりますけれども、予算の範囲内で行いたいと考えております。不足となった場合につきましては、補正予算にて対応させていただきますので、ご理解いただきたいと思っております。この目については以上です。

次のページをお願いいたします。2款1項1目基金積立金10万8,000円、比較、前年同額でございます。25節の積立金ですけれども、基金積立金は_____原資としてしております。利息分を積み立てするものでございます。

次に、歳入の説明を行います。7ページ、8ページをお願いいたします。1款1項1目一般会計繰入金、本年度1,000円、前年同額でございます。こちらにつきましては、科目存置として計上しているところでございます。

2項1目基金繰入金355万9,000円、前年同額でございます。貸付金でございますけれども、貸付金に対する返還金との差額に不足が生じる場合、基金を取り崩しまして歳入歳出のバランスをとっているものでございます。

次のページをお願いいたします。2款1項1目返還金243万円、36万円のマイナスでございます。返還予定者16名、内訳は大学7名、専門学校4名、高校が5名でございます。このページにつきましては以上です。

次のページをお願いいたします。3款1項1目寄付金でございます。本年度10万円、前年同額でございます。この目は特にございません。

次のページをお願いいたします。4款1項1目基金利子、本年度8,000円、前年同額でございます。なお、現在の預金高につきましては1,604万6,000円ほどになってございます。

次のページをお願いいたします。5款1項1目繰越金でございます。本年度1万円、前年同額でございます。こちらにつきましても特に説明はございません。

以上で歳入の説明を終わります。

続きまして、4ページ、5ページ目をお願いいたします。事項別明細書でございます。歳入歳出ともに610万8,000円としまして、歳入歳出のバランスをとっているところでございます。

なお、3ページ目に第2表の債務負担行為を掲載しておりますので、後ほどお目通し願います。

以上で説明を終わります。ご審議のほどよろしくをお願いいたします。

○委員長（齋藤雅文君） それでは、説明が終わりました。

これから質疑に入ります。事項別明細書、歳出、18ページから質疑を受けます。18ページ、19ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 20ページ、21ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 歳入、7ページから質疑を受けます。7ページ、8ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 9ページ、10ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 11ページ、12ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 13ページ、14ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 15ページ、16ページ、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 歳入歳出全般について質疑を受けます。歳入歳出全般について質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） それでは、これをもちまして奨学資金特別会計予算の質疑を終わります。

以上で全会計の質疑が終了いたしました。

暫時休憩いたします。

休憩 午後 2時12分

再開 午後 2時13分

○委員長（齋藤雅文君） それでは、休憩を閉じ委員会を再開いたします。

これから議案ごとに順次討論を行います。

議案第 33 号 平成 28 年度幌加内町一般会計予算について討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 討論なしと認めます。

次に、議案第 34 号 平成 28 年度幌加内町国民健康保険特別会計予算について討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 討論なしと認めます。

次に、議案第 35 号 平成 28 年度幌加内町後期高齢者医療特別会計予算について討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 討論なしと認めます。

次に、議案第 36 号 平成 28 年度幌加内町介護保険特別会計予算について討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 討論なしと認めます。

次に、議案第 37 号 平成 28 年度幌加内町国民健康保険病院事業会計予算について討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 討論なしと認めます。

次に、議案第 38 号 平成 28 年度幌加内町簡易水道事業特別会計予算について討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 討論なしと認めます。

次に、議案第 39 号 平成 28 年度幌加内町下水道事業特別会計予算について討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 討論なしと認めます。

次に、議案第 40 号 平成 28 年度幌加内町奨学資金特別会計予算について討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) これで討論を終わります。

それでは、これから議案ごとに順次採決を行います。

この採決は、挙手により行います。

まず、議案第 33 号 平成 28 年度幌加内町一般会計予算の件を採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(賛成者挙手)

○委員長（齋藤雅文君） 挙手多数。

したがって、議案第33号は原案のとおり可決すべきと決定しました。

次に、議案第34号 平成28年度幌加内町国民健康保険特別会計予算の件を採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（賛成者挙手）

○委員長（齋藤雅文君） 挙手多数。

したがって、議案第34号は原案のとおり可決すべきと決定いたしました。

次に、議案第35号 平成28年度幌加内町後期高齢者医療特別会計予算の件を採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（賛成者挙手）

○委員長（齋藤雅文君） 挙手多数。

したがって、議案第35号は原案のとおり可決すべきと決定しました。

次に、議案第36号 平成28年度幌加内町介護保険特別会計予算の件を採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（賛成者挙手）

○委員長（齋藤雅文君） 挙手多数。

したがって、議案第36号は原案のとおり可決すべきと決定しました。

次に、議案第37号 平成28年度幌加内町国民健康保険病院事業会計予算の件を採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（賛成者挙手）

○委員長（齋藤雅文君） 挙手多数。

したがって、議案第37号は原案のとおり可決すべきと決定しました。

次に、議案第38号 平成28年度幌加内町簡易水道事業特別会計予算の件を採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（賛成者挙手）

○委員長（齋藤雅文君） 挙手多数。

したがって、議案第38号は原案のとおり可決すべきと決定いたしました。

次に、議案第39号 平成28年度幌加内町下水道事業特別会計予算の件を採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（賛成者挙手）

○委員長（齋藤雅文君） 挙手多数。

したがって、議案第39号は原案のとおり可決すべきと決定しました。

次に、議案第40号 平成28年度幌加内町奨学資金特別会計予算の件を採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（賛成者挙手）

○委員長（齋藤雅文君） 挙手多数。

したがって、議案第40号は原案のとおり可決すべきと決定いたしました。

以上をもちまして本委員会に付託された議案第33号から議案第40号までの平成28年度各会計予算の審査は全部終了いたしました。

なお、議長への審査結果報告文につきましては、委員長に一任願います。ご苦労さまでした。

退任のご挨拶を申し上げます。本委員会は、3月15日の本会議で付託された平成28年度の一般会計外全8件の予算を慎重に、かつ精力的に審査をし、本日をもって審査を終了できました。このことは委員、説明員各位のご協力によるものでありまして、厚くお礼を申し上げます。予算審査特別委員会としての役割はこれをもって終了となりますが、議決した予算については議会としての責任も大変大きいものがあります。これが期待する行政効果を上げて町民福祉につなげていけるよう、今後の議会活動に向けて委員皆様のさらなるご活躍をご期待し、閉会のご挨拶といたします。

◎閉会の宣告

○委員長（齋藤雅文君） これをもちまして予算審査特別委員会を閉会いたします。

大変ご苦労さまでした。ありがとうございました。

閉会 午後 2時21分